

平成30年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		18-	21	
事業名	文化財調査委員会経費		会計	款	項	目
			一般	10	5	5
施策	3	心豊かなまち	課名	社会教育課		
	3-2	文化のかおるまちをつくる	係名	生涯学習係		
	3-2-1	多様な文化・芸術活動の支援				
主要施策	③文化財の保存・活用					

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町民、町内の文化財	目的 (対象がどのような状態になっているか)	資料館を見学することを通じて町民に郷土の歴史を知ってもらい、その中で郷土愛を育み、誇りをもち、まちづくりの意識を向上させる。
事業内容	町内の郷土資料の収集・保存・展示を行う。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	平成31年(目標)	
指標	1	郷土資料館への入館者数		118	13	人	↑	100	
	2								
	3								
	4								
	5								
			平成29年度(決算)		平成30年度(決算)		平成31年度(予算)		
全体事業費(千円) A+B					0		167		230
財源内訳	直接事業費 A						35		98
	うち一般財源						35		98
人件費(千円) B					0		132		132
内訳	一般職員(人・千円)				0		0.02		132
	臨時職員(人・千円)				0		0		0

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続(事業を現状どおり継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30年度の改善計画		③取組の課題	利用が少ないため、利用者増に努める。
②H30年度に実施した取り組み	蛍光灯、扇風機等を購入し、来館者のための環境整備に努めた。	④今後の改善計画	広報とういん等への掲載や小中学校へのPR等を行い、利用者増に繋げる。